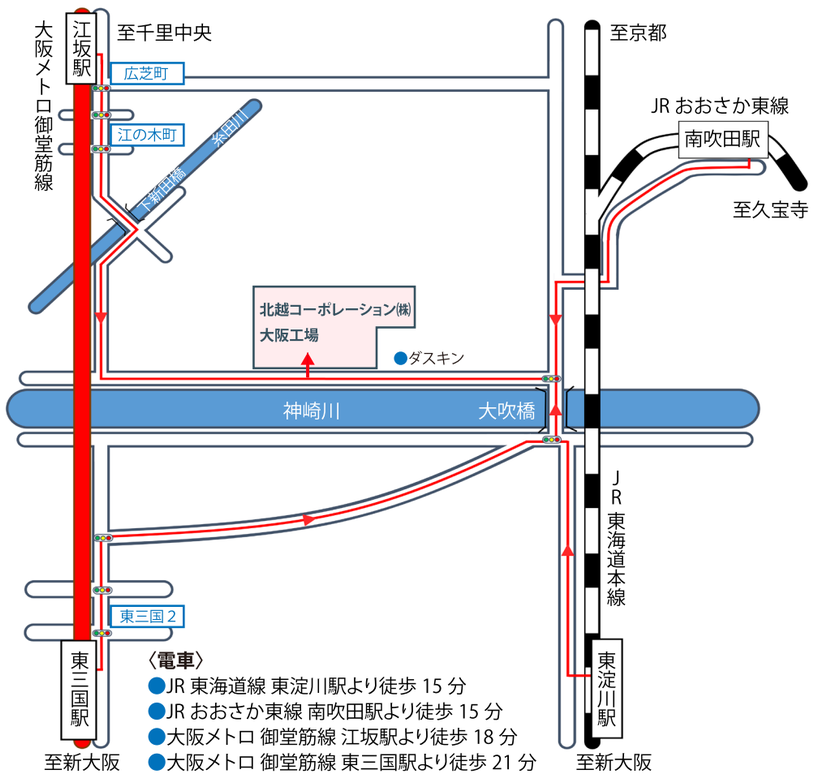
工場配置図

アクセス



〈電車〉
- ●JR 東海道線 東淀川駅より徒歩 15 分
- ●JR おおさか東線 南吹田駅より徒歩 15 分
- ●大阪メトロ 御堂筋線 江坂駅より徒歩 18 分
- ●大阪メトロ 御堂筋線 東三国駅より徒歩 21 分

北越コーポレーション株式会社
大阪工場

〒564-0043
大阪府吹田市南吹田 4-20-1
TEL　06-6385-3851
FAX 06-6385-1757

事業所／所在地

●本社
〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 3-2-2
TEL　03-3245-4500

●新潟工場
〒950-0881 新潟県新潟市東区榎町 57
TEL　025-273-1141

●紀州工場
〒519-5701 三重県南牟婁郡紀宝町鵜殿 182
TEL　0735-32-1111

●関東工場（市川）
〒272-0032 千葉県市川市大洲 3-21-1
TEL　047-378-0101

●関東工場（勝田）
〒312-0062 茨城県ひたちなか市高場 1760
TEL　029-275-5500

●長岡工場
〒940-0028 新潟県長岡市蔵王 3-2-1
TEL　0258-24-0630

●研究所
〒940-0027 新潟県長岡市西蔵王 3-5-1
TEL　0258-24-0635

●大阪支社
〒564-0043 大阪府吹田市南吹田 4-20-1
TEL　06-6339-5151

●名古屋営業所
〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦 1-7-28 J-SQUARE 丸の内 5 階
TEL　052-211-1272

大阪地区グループ会社

●北越紙販売株式会社大阪支店
〒564-0043 大阪府吹田市南吹田 4-20-1
TEL　06-7167-1250

●北越パレット株式会社大阪営業所
〒564-0043 大阪府吹田市南吹田 4-20-1
TEL　06-6385-9810

HOKUETSU

ZERO CO_2 2050™

北越コーポレーション株式会社　大阪工場パンフレット
このパンフレットは、事務部・安全環境管理室の小集団活動により自主作成したものです。
2024年5月発行

表紙イラスト
大阪工場とその周辺の風景、
吹田市の街並みを描いています。
（イラスト：岩崎全良）

HOKUETSU

北越コーポレーション株式会社
大阪工場

Hokuetsu Corporation
Osaka Mill

主要設備及び規模

- 総敷地面積　5.0 万㎡
- 工場敷地面積　3.9 万㎡
- 建物面積　3.3 万㎡
- 従業員数　49 人

- 主要設備

加工設備	コーター	1 台
動力設備	貫流ボイラ	2 基
用水設備	取水設備	1 式
	用水処理設備	1 式

沿革

1955 年　紀州製紙パルプ㈱大阪工場を建設
　　１号抄紙機（1991 年廃止）
　　２号抄紙機稼働
1960 年　淀川より取水開始
　　紀州製紙㈱に社名変更
1962 年　３号抄紙機稼働
1967 年　重油ボイラー・タービン導入、自家発電開始
1969 年　５号抄紙機稼働（2004 年廃止）
1996 年　１号コーター稼働
2001 年　ISO14001 認証取得、TPM 優秀賞受賞
2004 年　２号コーター・ガスコージェネ設備稼働
　　FSC®-CoC 森林認証取得（FSC-C005497）
2005 年　TPM 優秀継続賞受賞
2009 年　２号抄紙機・３号抄紙機・ガスコージェネ設備停機
2011 年　北越紀州製紙㈱に社名変更
2012 年　東日本大震災による電力不足に対応するため、
　　ガスコージェネ設備再稼働
2014 年　１号コーター停機
2018 年　北越コーポレーション㈱に社名変更

工場全景

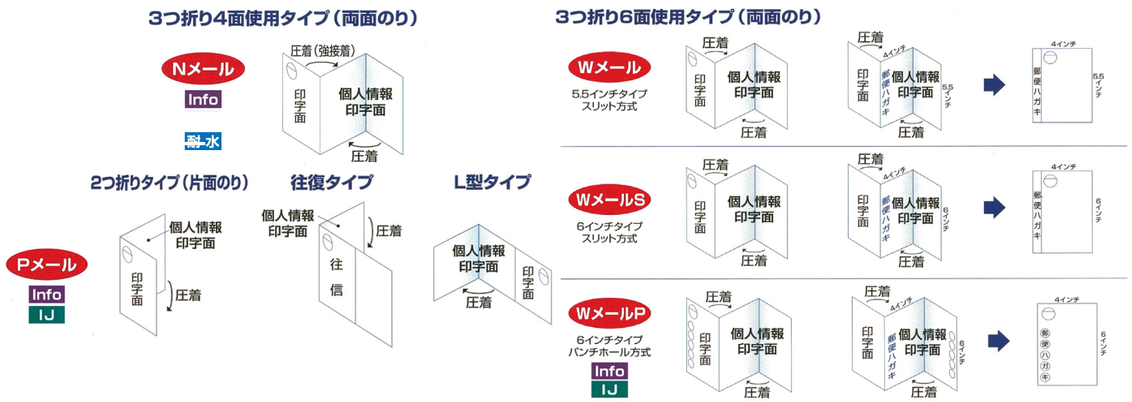
大阪工場は、神崎川の河畔に位置し、圧着紙や特殊塗工紙などの紙加工品を生産しています。
特に圧着紙は、良好な品質の製品を供給するため、営業部門と密接に連絡を取り合いながら、お客様のニーズに合わせた受注生産を可能としています。

主な製品紹介

- 圧着紙
- 遮光紙
- その他特殊塗工紙

「紀州の圧着紙」の特長

紀州の圧着紙は、秘匿性の高い個人情報を確実に通知する親展ハガキとして幅広く使用され、お客様より高い評価を得ています。官公庁をはじめ、各種通知書用途で実績があります。
あらゆるタイプの 圧着ハガキに対応した多彩なバリエーションを取り揃え、さまざまなプリンターに対応した商品をラインナップしています。また、高い耐水性を持たせた製品もご提供できます。



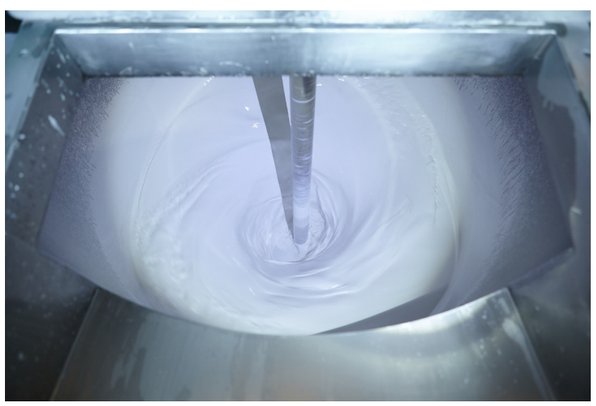
圧着紙を生産するために生まれた２号コーター

大阪工場の主力生産設備である２号コーターは、先糊型圧着紙の生産に特化した生産設備として誕生しました。先糊型圧着紙は、基材となる原紙に特殊糊を配合した塗料を薄く塗工することで糊同士が密着する仕組みになっています。
圧着紙は個人情報が記載されるため、接着性能の安定性、重量の制約、データ誤認につながるゴミ・汚れへの対策など、高度な品質管理が必要となります。大阪工場は、圧着紙に特化した生産設備・生産体制の強みを生かした品質づくりを行っており、その品質は業界でもトップクラスとの評価をいただいています。
2004 年に稼働した２号コーターは、小ロット生産においてもロスをできるだけ少なくする工夫がされており、短納期・小ロットのご注文に対応することが可能です。また、各種通知書向け大量処理用途にも安心してご利用いただいています。
私たちは、常に最新のプリンターに適応した圧着紙の開発を進め、日々進化を続けています。

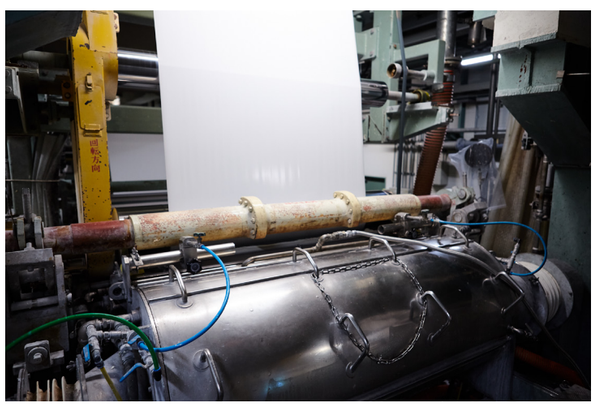
２号コーター１階

２号コーター

キッチン	アンワインダー	コーターヘッド	ドライヤー	ターンバー	コーターヘッド	ドライヤー	ワインダー
紙に塗布する塗料を調合する	基材をセットする	調合した塗料を第一面に塗布する	第一面に塗布した塗料を乾燥させる	第二面に塗料を塗布するため裏表を反転させる	調合した塗料を第二面に塗布する	第二面に塗布した塗料を乾燥させる	ロール状に巻き取る



キッチン



コーターヘッド

ドライヤー

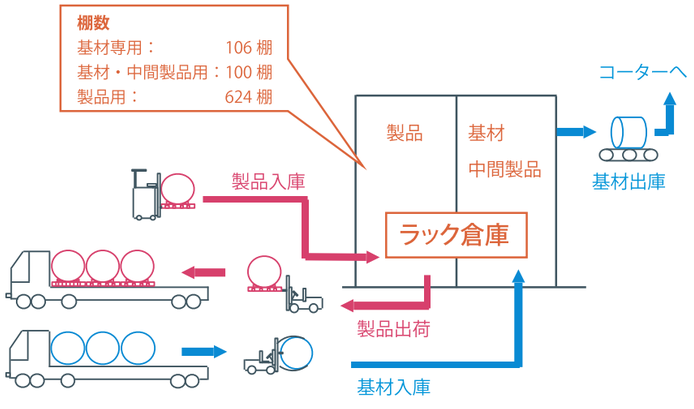
ワインダー

スリッター

コーター工程でできあがった巻取品はスリッターに運ばれ、要求されるさまざまな製品寸法・長さで巻取り、包装しています。
圧着紙は表面に特殊糊主体の塗料を塗布しているため、転がし面に気泡緩衝材を包装し、製品を保護しています。
包装後、パレットに載せ製品ラック倉庫へ搬入します。

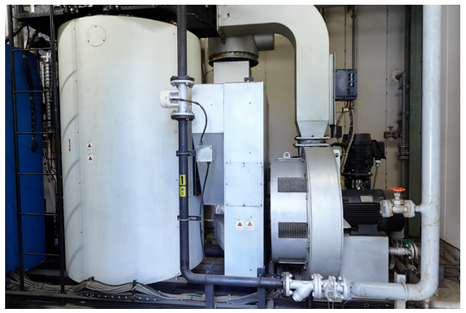
ラック倉庫

紀州工場で抄造した基材や、コーターで塗工した中間製品、スリッターで加工した製品の入出庫を行います。



ラック倉庫

環境への取り組み



●貫流ボイラー

大阪工場で使用する蒸気は、都市ガスを使用した貫流ボイラーで供給しています。
貫流ボイラーはコンパクトで、都市ガスを燃焼させるので SOx（硫黄酸化物）の発生がなく、環境にも優しい設備です。

●ISO14001 登録証

ISO14001 活動は、2001 年 5 月に初年度認証登録を受けました。
現在は、2015 年版規格に移行し、活動を継続しています。

用排水設備

●用水設備

1960 年、淀川より直接取水の許可を得て、淀川右岸で表流水を取水し、沈砂池を通して約 3.5km 離れた大阪工場へ送水しています。
淀川水系の利用企業として常に節水に留意し、操業しています。
淀川から取水した水をクリアレーター (凝集沈殿除濁装置) 1 基、シルコン急速濾過器 (圧力式急速濾過器) ３基で処理し、工場で使用しています。

●排水処理設備

工場から出る排水は、凝集沈殿方式で処理したものは神崎川へ、他生活排水等は公共下水道に放流しています。

クリアレーター (凝集沈殿除濁装置)

シルコン急速濾過器 (圧力式急速濾過器)